

あげお 議会だより

発行/上尾市議会 編集/議会報編集委員会 〒362-8501 埼玉県上尾市本町3-1-1 電話 048-775-9467



満開の桜の下で遊ぶ子どもたち

主な内容

市長の提案説明.....	2 ~ 3 P
委員会の主な審査内容・討論.....	3 ~ 5 P
第一回臨時会.....	4 P
請願の結果.....	6 P
提出議案とその結果.....	7 ~ 8 P
市政に対する一般質問.....	9 ~ 13P
委員会活動、 意見書、傍聴席からひとこと.....	14P

平成19年3月定例会日程

2月26日.....	開会、議案の上程 提出議案の説明
3月1日.....	議案に対する質疑、委員会付託
3月2・5日...	総務・建設水道常任委員会
3月6・7日...	文教経済・福祉消防常任委員会
3月9日.....	一般質問
3月12日.....	一般質問
3月13日.....	一般質問
3月14日.....	一般質問
3月20日.....	委員長報告、討論、採決 議員提出議案の上程、 採決、閉会

3月定例会

上尾駅整備等事業費などを含む一般会計予算 男女共同参画推進条例など46議案を可決



駅舎のバリアフリー化やデッキの拡幅などの改修を行う上尾駅

3月定例会で審議した議案は、市長提出議案が36件、議員提出議案が12件の合計48件で、うち46件が原案のとおり可決、2件を否決しました。

市長の提案説明から

平成19年度一般会計予算

平成19年度予算編成にあたっては、市税収入が大幅に伸びることが見込まれることなどから、継続する大型事業や新規事業をはじめ、扶助費における支給対象の拡大や増額など、これまで以上に積極的な施策展開をすべく編成したところです。

この結果、一般会計予算案は513億円となり、前年度比5.9%の増加となったところです。

「市民と築く、開かれたまち」では、地域コミュニティ活動の拠点となる町内会の「集会所等整備補助事業」を引き続き計上したほか、イコス上尾の空調機器の改修に係る経費などを新たに計上しました。

「思いやりのあるまち」では、

要介護高齢者等手当及び要介護高齢者等介護者慰労金を月額5,000円から1万円に増額するほか、これまでの乳幼児医療費を「こども医療費」と改め、入院に係る医療費について中学校卒業時まで拡大する改正を行います。

また母子家庭支援のための「自立支援教育訓練給付金事業」や子育て支援の場となる「つどいの広場事業」、「病児・病後児保育事業」、「障害者就労支援センター整備事業」などの経費を新たに計上しました。

「潤いのあるまち」では、(仮称)瓦葺コミュニティ施設の整備に係る経費や(仮称)畔吉公園整備に係る経費などを新たに計上しました。

「安心・安全なまち」では、(仮称)仲町谷津線の都市計画決



3月定例会での市長の提案説明

平成19年度予算

主な新規事業

1万円未満切り捨て

(総務費)

- 文書倉庫移転事業8,234万円
- 基幹系システム再構築事業9,118万円
- 西小なこよし児童クラブ運営事業809万円
- 民営放課後児童クラブ補助事業1,002万円
- 防災啓発推進事業(仮称西消防署複合施設内に地震体験コーナー等を設置).....4,335万円
- 防犯灯緊急整備事業(防犯灯の重点整備)1,000万円
- イコス上尾整備・改修事業(空調機器の改修)1,400万円
- 参議院議員選挙事業6,130万円
- 県知事選挙事業5,677万円
- 市長選挙事業5,352万円
- 市議会議員選挙事業9,348万円
- (民生費・衛生費)
- 地域福祉計画推進事業(社会福祉基金活用事業助成金の新設)379万円
- 障害者就労支援センター事業(障害者の就労促進)956万円
- 後期高齢者医療広域連合事務事業2,834万円
- つどいの広場事業(子育て支援)340万円
- 病児保育室施設整備補助事業416万円
- 病児・病後児保育事業581万円
- (仮)瓦葺コミュニティ施設整備事業(基本設計策定・事業認定図書作成).....1,295万円

(工費・消防費)

- 上尾駅整備等事業(平成19年度より工事着工)3億3,868万円
- 消防署訓練塔改修事業1,390万円
- NBC災害対策事業(特殊災害対応装備整備)500万円
- (仮)西消防署複合施設建設事業12億1,926万円
- (土木費)
- 道路緊急安全対策事業5,000万円
- 電線地中化整備事業(上尾平方線)2,679万円
- 上平公園整備事業(スコアボード改修経費)4,700万円
- 小泉水川山公園整備事業876万円
- 街区公園整備事業(仮称畔吉公園整備経費)3,045万円
- 街区公園整備事業(みずき公園整備経費)700万円
- (教育費)
- 小学校管理運営事業(大石北小学校外壁改修工事)3,200万円
- 中学校屋上防水改修事業(東中学校)4,100万円
- 学校安全パトロールカー事業(各中学校区単位に11台配備)374万円

平成19年度会計別予算

(単位 千円)

区 分	予算額	
一 般 会 計	51,300,000	
特 別 会 計	国民健康保険会計	19,638,100
	工業住宅団地開発事業会計	2,180
	公共下水道事業会計	4,691,900
	老人保健会計	11,715,200
	介護保険会計	7,711,700
小 計	43,759,080	
企 業 会 計	水道事業会計	6,223,000
合 計	101,282,080	

「活気と賑わいのあるまち」では、農業基盤整備として、「施設園芸規模拡大改善事業」などを、また商工業の振興として、「商店街活力再生推進事業」などを引き続き計上しました。



上尾平方線の上尾駅前からの風景

定に向けた経費のほか、上尾平方線の「電線地中化整備事業」や道路の安全性確保のための「道路緊急安全対策事業」などを新たに計上しました。

「上尾駅整備事業」については、平成19年度から22年度までの4年間の継続費として計上したほか、「(仮称)西消防署複合施設建設事業」については、19年度中に開所すべく予算計上したところです。

このほか、「上尾中山道東側地区市街地再開発事業」や、「北上尾駅バリアフリー整備事業」、「上尾道路周辺整備事業」などの継続事業についても、引き続き計上しました。

「計画推進に向けて」では、各所属で管理している地図情報を集中管理する「統合型GIS整備事業」を新たに計上したところです。

以上が、総合計画の施策の大綱に従った主な事業です。平成19年度も引き続き安定的・継続的な財政運営を行っていくため、行財政改革の更なる推進を図りつつ、諸事業の積極的な展開に取り組み、22万4,000人市民が「住んでよかった」と実感できるまちづくりに努めていきたいと考えています。

「心豊かなまち」では、学校施設の整備として、大石北小学校外壁改修工事費や上尾中学校の屋内運動場改修工事費、東中学校の屋上防水改修工事費を新たに計上しました。

なお、上尾小学校、尾山台小学校、太平中学校及び原市中学校の「校舎大規模改造(耐震補強)事業」については、国の補正予算を活用するため、平成18年度3月補正予算に計上し、平成19年度に繰り越して実施するものです。

このほか、子どもたちの安全確保と地域防犯のため、各中学校区単位に11台の学校安全パトロールカーを配備する経費や、昨年の中学校に引き続き、全ての小学校と市立幼稚園に自動体外式除細動器(AED)を整備する経費を新たに計上しました。

「心豊かなまち」では、学校施設の整備として、大石北小学校外壁改修工事費や上尾中学校の屋内運動場改修工事費、東中学校の屋上防水改修工事費を新たに計上しました。

なお、上尾小学校、尾山台小学校、太平中学校及び原市中学校の「校舎大規模改造(耐震補強)事業」については、国の補正予算を活用するため、平成18年度3月補正予算に計上し、平成19年度に繰り越して実施するものです。

このほか、子どもたちの安全確保と地域防犯のため、各中学校区単位に11台の学校安全パトロールカーを配備する経費や、昨年の中学校に引き続き、全ての小学校と市立幼稚園に自動体外式除細動器(AED)を整備する経費を新たに計上しました。

委員 関連して、上尾駅周辺地区まちづくり交付金の交付対象を伺いたい。

答 障害を持った多くの方が、エレベーター・エスカレーターの設置を希望されていた。また、車いす利用者の皆さんは、自由通路の拡幅を望まれていた。そのほか、タクシー乗り場にきちんとした屋根がほしい、車いす対応型の券売機を設置してほしい、等々の意見があった。

当初予算
上尾駅のバリアフリー化への
障害者団体の要望は
予算メモ 上尾駅整備対策費
で、上尾駅整備等事業費3億3,868万6,000円を計上。

文教経済常任委員会

委員 文教経済、建設水道、福祉消防の各常任委員会は、付託された議案などを審査しました。以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

委員会審査から

答 まちづくり交付金は、一つのエリアを定めて整備を図っていくための制度で、上尾駅周辺地区まちづくり交付金では、自由通路などの拡幅・延伸、西口広場・公衆トイレの整備、商店街の活力再生、イルミネーション事業、美化運動などが交付対象となる。

当初予算
学校安全パトロールの実施に際しての指導は



現在使用している防犯パトロールカー

予算メモ 保健体育総務費の学校安全パトロールカー事業で、各中学校への軽自動車のパトロールカー配備の経費を計上。
委員 学校安全パトロールカー事業は、児童・生徒にとって良いことだと思つ。各中学校区で組織されている生徒指導連絡協議会を中心に各団体の協力により実施するといふことのようにだが、できれば細かな規則のようなものを作つ

て指導していただきたいと思つが、考えを伺いたい。
答 現在、実施要綱の作成や車両の管理規定などを検討しているところである。

総務常任委員会

当初予算
放課後児童クラブへの補助と学童保育所運営の一括委託

予算メモ 青少年育成費で、民営放課後児童クラブ補助事業に1,002万5,000円、学童保育所管理運営事業に300万円を計上。

委員 放課後児童クラブ補助事業費の内訳と、学童保育所管理運営事業でNPOへ一括委託することについて伺いたい。

答 放課後児童クラブへの補助としては、土地、賃借料として月額10万円を補助基準上限額として7カ月分を2カ所分140万円、備品購入費70万円を2カ所分140万円、施設整備費100万円を2カ所分200万円、指導員の手当分と社会保険料、施設の運営費、教材費に通常出している補助金34万円を2カ所分68万円、その他委託料を含め、合計すると1,002万5,000円となる。NPOへの委託については、市内20学童保育所が一体となりNPO法人として条件整備されたので、

第1回臨時会の内容
【市長提出議案7件を可決】

- ・議案第1号は、一般会計補正予算（第4号）の債務負担行為の補正です。
県議会議員選挙事務従事者派遣委託及び上平公民館管理業務委託
補正額：6,943,000円
- ・議案第2号は、水道事業会計補正予算（第3号）の債務負担行為の補正です。
水道庁舎警備業務委託
補正額：5,676,000円
- ・議案第3号から議案第6号までは、工事請負契約の締結です。
（仮称）西消防署複合施設建設工事について、消防棟建築工事、複合棟建築工事、機械設備工事及び電気設備工事に関する工事請負契約の締結
 1. 消防棟建築工事
契約金額：451,500,000円
 2. 複合棟建築工事
契約金額：315,000,000円
 3. 機械設備工事
契約金額：183,750,000円
 4. 電気設備工事
契約金額：103,950,000円
- ・議案第7号は、財産の取得です。
（仮称）西消防署複合施設用地の取得
取得予定価格：256,241,751円

当初予算
市議会議員選挙の特色ある啓発活動は

平成19年度からNPO法人あげお学童クラブの会に一括委託する準備を進めているところであり、それらの事務に携わる3人の職員の事務費負担300万円を計上した。

予算メモ 市議会議員選挙にかかる9,348万6,000円を計上。

委員 市議会議員選挙は、前回の投票率が50%を下回ってしまったが、予算の中の啓発活動で特色あるものを伺いたい。



県議会議員選挙の横断幕

答 特色のある啓発活動として、広報車で市内を循環、飛行機により啓発、防災行政無線の活用、横断幕と懸垂幕を上尾駅、北上尾駅、ニューシャトルの駅などに掲

建設水道常任委員会

当初予算
上尾道路周辺整備の国との負担割合は

示する。そのほかに、市内循環バス「ぐるっとくん」の車内に啓発用の広告を掲示する予定で、また、自動販売機のメッセージボード、広報あげお、市のホームページなどで啓発活動に努めてまいりたい。

予算メモ 都市計画総務費で、上尾道路周辺整備事業費を計上。

委員 この事業は国との共同事業とのことだが、負担割合と今年度の工事内容について説明してほ

畠山稔議員が辞職

3月定例会開会日の2月26日に、畠山稔議員(市民民主クラブ)から辞職願が提出され、市議会は同日付けでこれを許可しました。

畠山議員は平成8年1月以来、文教経済常任委員会委員長、総務常任委員会委員長、議会報編集委員会委員長等を歴任されました。

これにより市議会議員の現員数は31人となりました。

議員提出議案として条例1件を可決

上尾市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

この条例は、地方自治法の一部改正を踏まえ、委員会の会議録を電磁的記録により作成できるように改めるほか、常任委員、議会運営委員及び特別委員の選任の方法を、議会において選任することから、議長の指名によることに改めるものです。これにより、例えば閉会中に補欠選挙で当選した議員が当選後直ちに実質的な審査機関である委員会の委員となることが出来ます。なお、施行期日は平成19年4月1日です。



工事の進む上尾道路予定地

予算メモ 市街地整備推進費で、上尾中山道東側地区市街地再開発事業費を計上。
委員 工事に際して、駅前道路の混雑を防ぐ対策を立てたか。
答 現在、基本設計を進めており、工事全般にかかる実施設計については春以降になると思うが、その段階で工事の工法、工期を含めて検討していく。公安委員会や県の交通規制課などと打ち合わせながら、極力支障がないような形で設計の中に取り入れて進めていきたいと考えている。

予算メモ 保育所費で、市立保育所運営事業費を計上。
委員 待機児童の状況を伺いたい。
答 平成19年4月の入所の応募状況は、1次選考の段階で170名が入所できない状況である。年齢別では0歳から3歳児未満が一番入れない状況である。ただし、170名の中には保育に欠けるという状況にない人もいることから、前年の例によると最終的に58名が待機児童となった。委員 保育所に入れば働きたいという人は、預けられなければ働けないということで、切実さの点では同じである。待機児童の問題が深刻に広がっているので、早急に取り組んでいただきたい。



おやつを食べる保育所の子どもたち

当初予算

中山道東側地区再開発の工事の際の混雑対策を

行なう予定である。これでアンダーパスの構造物がほとんど完了すると聞いており、できれば平成20年度において取り付け工事を行ない供用開始としたい。

当初予算

市立保育所の待機児童の状況は

福祉消防常任委員会

状況は、1次選考の段階で170名が入所できない状況である。年齢別では0歳から3歳児未満が一番入れない状況である。ただし、170名の中には保育に欠けるという状況にない人もいることから、前年の例によると最終的に58名が待機児童となった。委員 保育所に入れば働きたいという人は、預けられなければ働けないということで、切実さの点では同じである。待機児童の問題が深刻に広がっているので、早急に取り組んでいただきたい。

条例制定

乳幼児医療費の支給を 中学校卒業時まで引き上げ

上尾市乳幼児医療費支給条例及び上尾市重度心身障害者医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について
この条例は、子育て支援の一層の充実を図るため、乳幼児に対する入院に係る医療費の支給年齢を中学校卒業時まで引き上げるほか、中学校卒業前までの重度心身障害者に係る食事療養標準負担額については、その全額に相当する額を支給するよう改めるものです。
委員 大変厳しい財政状況と言いつつも、思い切った施策に対して適切な評価をしたいと思うが、これに係る医療費や食事療養費はどの程度か伺いたい。

条例制定

要介護高齢者の介護者へ支給する慰労金を倍増

上尾市要介護高齢者等介護者慰労金支給条例の一部を改正する条例の制定について
この条例は、高齢者に対する在宅福祉の一層の増進を図るため、要介護高齢者等介護者慰労金の支給額を引き上げるものです。
委員 申請に基づいて支給することになっているが、未受給がないのか。また、確認はできるのか伺いたい。
答 要支援、要介護の認定を受けた場合、認定通知書と他のいろいろな制度に関するパンフレットなどを同封して送っている。在宅であるということが条件であるため、あくまでも本人申請ということになる。未受給者の最終的確認はしていない。

賛成討論

要旨

平成19年度一般会計予算について次の点で賛成する。

市長は施政方針の中で、「スリム・スピード・スペシャリティ」の3つのSを示し、行財政運営に取り組んでいる。今後は行政効率を高めるだけでなく、マーケティングを意識し、真の市民ニーズを的確に捉え、的を射た施策をスピーディーに推進していく、としている。

平成19年度一般会計予算は、総額513億円、前年度比較5・9パーセントの伸びとなる積極予算となっている。

歳入では、地方交付税や地方特例交付金が大幅に減額となったものの、大幅に伸びた市税収入をはじめ、国庫支出金、県支出金、繰入金、市債等を有効に活用し、事業の拡大・充実による歳入を確保したことを評価する。

各種事務に欠くことのできない基幹系システムの再構築事業や、今まではばらばらになっていた地図情報を一元管理し業務の効率化を図るための統合型GIS整備事業は有意義である。

青少年育成では、西小学校のなかよし児童クラブが新たに新設されたことに伴う運営事業や、学童保育所運営事業は、未来を担う限りない可能性を秘めた子どもたちのための積極的な施策である。

上尾駅の整備については、上尾市の顔であり、また東西交流促進の場などとして、上尾駅の耐震性の向上や安全性・利便性の確保、駅内外のバリアフリー化を促進するとともに、自由通路を拡張することに賛意を表する。

街づくりでは、(仮称)大谷北部第四土地区画整理事業への補助、上尾平方線の街路の整備、氷川山公園・丸山公園の整備、北上尾駅のバリアフリー化などを評価する。

教育では、大石小学校の外壁改修、上尾中学校の屋内運動場改修、東中学校の屋上防水改修に加え、大石・原市・平方・今泉の4つの小学校と上平中学校の耐震設計、富士見小学校校舎基本設計にかかる経費を計上している。学校は、災害時には避難所になる施設であり、また将来を担う子どもたちの学び舎でもあることから、これらの施設の充実に賛同する。

全体に、緊急性の高い事業や将来の上尾市を見据えた事業、市民要望に応えた事業、行財政3カ年実施計画に位置付けられた事業などに肉付けを行いながらバランスよく編成をされている。

子育て支援として子どもの医療費無料化を義務教育終了まで拡充を求める請願について次の点について賛成する。

格差社会の解消が政治の最重要課題と考えることから、行政サー

ビスへの市民負担の軽減を考えるべきである。

子育て世代が安心して子どもを生み育てることができるよう、子どもの医療費の無料化を進めるべきである。

生活保護の「母子加算」廃止に反対する国への意見書を求める請願について次の点で賛成する。

日本の母子家庭の母親は、仕事を掛け持ちして健康を犠牲にする例が珍しくないほど貧困が進んでいる。

行政サービスの低下は避けるべきであり、地方自治体は、国にその意思を示すべきである。

反対討論

要旨

平成19年度一般会計予算について次の点で反対する。

増税などで市民の負担が増えている現在、大きな財政負担を伴う大規模事業は、上尾駅改修の場合、緊急に取り組まなければならないといわれるバリアフリーの部分だけを進めるべきである。同様に、西消防署複合施設建設は、複合でなく単独にすべきである。また、整合性のない複合にもすべきでない。

西口街路整備は、命を大切にするとという考え方から、ケヤキを伐採すべきではない。

中山道東側地区市街地再開発について、交通対策がはつきりしない中で進めるべきではない。

学級支援員は、学校からの99人の要望に対して、前年度と同じ18人では足りない。

窓口業務の民間委託化について、脱法行為であり、すべきでない。

同和運動団体への補助金や、運動団体の研修会・総会へ参加など、法的根拠のない同和行政を進めることに反対する。

後期高齢者医療広域連合事業は、周知徹底を図ってから進めるべきであり拙速である。

西貝塚環境センターに関連する地域の団体の研修への参加は考え直すべきである。

中山道東側地区市街地再開発は、景観・交通混雑・地元商店との競合など、幾つもの問題が解決されていない中で進めるべきではない。

図書館のカウンター業務民間委託について、図書館行政の将来構想が定まらない中で進めるべきではない。

平成19年度上尾市国民健康保険特別会計予算について次の点で反対する。

国民健康保険の窓口業務委託について、国民健康保険業務の事務が煩雑化し増えている中では、正規職員の増員こそ必要であり、窓口業務の委託化はすべきでない。

国民健康保険の窓口は、本当に困った人たちが来る窓口であり、市の職員が当たるべきである。

上尾市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について次の点で反対する。

正規の職員が減って、嘱託やパートタイマーと混在する職場が増えている。このような中で、定員適正化計画に従ってさらに職員定数を減員することに反対する。

上尾市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について次の点で反対する。

日本の景気の回復には、消費拡大が必要であると考えられるので、すべての働く者の給与の削減に反対である。

市役所の給与は、地域での企業や団体の給与の基準にならなくてはならないが、改正される給与体系は妥当ではない。

請願の結果

市民の皆さんから提出された請願は、委員会審査を経て3月20日の本会議で採決し、2件を採択しました。

採択された請願

大石学童保育所大規模化に関する請願

上尾市大字小泉283番地

代表者 大石学童保育所保護者会

会長 藤田照雄氏 他382人

大谷学童保育所過大規模化に関する請願

上尾市大字大谷本郷631番地1

代表者 大谷学童保育所父母会

会長 田中周一氏 他5,318人

平成19年第 1 回臨時会提出議案とその結果

市長提出議案（7件）

= 賛成 × = 反対 賛成・反対 = 退席
= 賛成・退席 = 反対・退席 = 賛成・反対・退席

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	未来	市民	無党派
議案第 1 号	平成18年度上尾市一般会計補正予算（第 4 号）	原案可決						
議案第 2 号	平成18年度上尾市公共下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決						
議案第 3 号	工事請負契約の締結について	原案可決						
議案第 4 号	工事請負契約の締結について	原案可決						
議案第 5 号	工事請負契約の締結について	原案可決						
議案第 6 号	工事請負契約の締結について	原案可決						
議案第 7 号	財産の取得について	原案可決						

平成19年 3 月定例会提出議案とその結果

市長提出議案（36件）

= 賛成 × = 反対 賛成・反対 = 退席
= 賛成・退席 = 反対・退席 = 賛成・反対・退席

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	未来	市民	無党派
議案第 8 号	平成18年度上尾市一般会計補正予算（第 5 号）	原案可決						
議案第 9 号	平成18年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決						
議案第10号	平成18年度上尾市公共下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決						
議案第11号	平成18年度上尾市老人保健特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決						
議案第12号	平成18年度上尾市介護保険特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決						
議案第13号	平成19年度上尾市一般会計予算	原案可決		×				
議案第14号	平成19年度上尾市国民健康保険特別会計予算	原案可決		×				
議案第15号	平成19年度上尾市工業住宅団地開発事業特別会計予算	原案可決						
議案第16号	平成19年度上尾市公共下水道事業特別会計予算	原案可決						
議案第17号	平成19年度上尾市老人保健特別会計予算	原案可決						
議案第18号	平成19年度上尾市介護保険特別会計予算	原案可決						
議案第19号	平成19年度上尾市水道事業会計予算	原案可決						
議案第20号	上尾市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第21号	上尾市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第22号	埼玉県市町村総合事務組合の設立に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決						
議案第23号	上尾市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第24号	上尾市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決		×				
議案第25号	上尾市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第26号	上尾市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第27号	上尾市建築基準法関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第28号	上尾市男女共同参画推進条例の制定について	原案可決						
議案第29号	上尾市乳幼児医療費支給条例及び上尾市重度心身障害者医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第30号	上尾市要介護高齢者等手当支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第31号	上尾市要介護高齢者等介護者慰労金支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第32号	上尾市平日夜間及び休日急患診療所条例の制定について	原案可決						
議案第33号	道路法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決						

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	未来	市民	無党派
議案第34号	上尾市消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議案第35号	財産の取得について	原案可決						
議案第36号	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	原案可決						
議案第37号	埼玉県都市競艇組合の規約変更について	原案可決						
議案第38号	市道路線の認定について	原案可決						
議案第39号	市道路線の認定について	原案可決						
議案第40号	市道路線の認定について	原案可決						
議案第41号	市道路線の認定について	原案可決						
議案第42号	市道路線の廃止について	原案可決						
議案第43号	市道路線の廃止について	原案可決						

議員提出議案(12件)

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	未来	市民	無党派
議第1号議案	上尾市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決						
議第2号議案	「がん対策推進条例」(仮称)の早期制定を求める意見書	原案可決						
議第3号議案	「がん対策推進基本計画」の早期決定を求める意見書	原案可決						
議第4号議案	「マザーズサロン」(仮称)設置の早期実現を求める意見書	原案可決						
議第5号議案	「法テラス」の更なる体制整備・充実を求める意見書	原案可決						
議第6号議案	公開制度見直しなど戸籍法の早期改正を求める意見書	原案可決						
議第7号議案	残業代ゼロ・長時間労働対象拡大の恐れあるホワイトカラー・エグゼンプションの導入の完全撤回を求める意見書	原案否決	×		×	×		
議第8号議案	深刻な医師不足の打開策を求める意見書	原案可決						
議第9号議案	「最低賃金」制度の見直しを求める意見書	原案可決				×		
議第10号議案	国民健康保険に係る国庫負担金の減額算定措置の廃止を求める意見書	原案可決						
議第11号議案	国民投票法案の廃案を求める意見書	原案否決	×		×	×		
議第12号議案	学童保育所の大規模化を緊急に解消することを求める決議	原案可決						

閉会中の継続審査のもの(1件)

請願番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	未来	市民	無党派
請願第29号	子育て支援として子どもの医療費無料化を義務教育終了まで拡充を求める請願	不採択	×		×	×		

請願(3件)

請願番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	未来	市民	無党派
請願第31号	大石学童保育所大規模化に関する請願	採 択						
請願第32号	生活保護の「母子加算」廃止に反対する国への意見書を求める請願	不採択	×		×	×		
請願第33号	大谷学童保育所過大規模化に関する請願	採 択						

決議

3月定例会で
決議1件を可決

学童保育所の大規模化を緊急に解消することを求める決議
共働き世帯やひとり親家庭の増加や、いじめや児童の自殺、児童虐待、放課後の安全対策など子どもを取り巻く環境が大きな社会問題になっている。学童保育は放課後の児童の生活と安全を確保する上で大切な役割を果たしている。

しかしその一方で施設の狭隘、老朽化の激しい学童保育もあり、最近では入所児童の増加によって大規模化が進み適切な保育ができない学童保育も増加している。

また、子育て支援策として政府の進める「放課後児童プラン」への対応も重要な課題となっている。

現在、70名を超える学童保育所は5カ所あり、2006年12月議会で、第二学童の設置を求め請願や要望書も出されている。

さらに4月から定員も決まり、多くの学童保育所で待機児童がでることも予想される。

よって市は、学童保育所に入所を希望する児童すべてに保育が行われるよう緊急に第二学童の設置を含め施設整備を行うべきである。

以上、決議する。

平成19年3月20日 上尾市議会

市政に対する一般質問

ここが問題 そこが聞きたい

環境・産業

高齢者・障害者に対する防災対策は

問 防災計画の点から高齢者、障害者などの弱者対策について特別な手だてが必要と思うが、耐震診断、耐震補強に対する助成について、また、災害時の避難場所のバリアフリー化についての現状と今後の方向について伺いたい。

答 平成19年度に建築物耐震改修促進計画を作成する計画であり、その中で戸建て住宅の耐震診断、耐震改修の助成制度に取り組むことになっている。
災害時の避難場所の多くは小・中学校が指定されているが、バリアフリー化について具体的にはスロープ、階段の手すり、車いす対応トイレ、エレベーターの設置について対応している。避難所とし



植樹帯で狭くなっている歩道

ては、主に体育館が使用されているが、現状を申し上げるとスロープのある学校が13校、ない学校が12校、校舎と一体となっている学校が8校、うち5校はエレベーターがない状況であり、体育館以外でバリアフリー化されている状況を生かし、体育館とは別に教室を避難所として使用することも考えている。

植樹帯の低い木の撤去を

問 歩道に植栽されている低木を撤去することにより、歩道幅を広げ安心して相互交通ができるようになる。また、樹木せんだにかかる経費も節約できると思う。そこで、低木を撤去する考えはあるのか伺いたい。

答 道路交通環境の整備と沿道における良好な生活環境の確保を図ることを目的として樹木を植栽してきたが、年数を経ることにより街路樹が大きくなり、歩道幅員を狭くし通行の妨げとなっているのは事実である。
そのような状況を受けて、北本県土整備事務所では平成19年度を目前に市役所前から芝川までの約450メートルの間を、植樹帯の低木を撤去し中木だけの植樹帯に変える工事を施工しており、整備済みの歩道部は通行に有効かつ安全な歩道に生まれ変わり利用者に喜ばれている。

また、平成18年度予算の管理費を見ると、低木せんだが約14%に相当しており、経費の節約が見込まれる。

3月定例会の一般質問は、3月9・12・13・14日の4日間行われ、20人の議員が登場し、市政全般49項目にわたって市当局の見解を求めました。
また、この4日間で274人の皆さんが議会を傍聴しました。
一般質問の主な内容は次のとおりです。

今後、植樹帯を植樹すへと変えることによる歩道再整備のメリット・デメリットなどをよく検討し、交通の障害や美観を損ねない歩道を考えていきたい。

2007年問題 団塊世代の消防団員への活用は

問 2007年、団塊世代の大量退職後に地域社会への活力として生かす中で、消防団員への活用について伺いたい。

答 消防団は、自らの地域は自らが守る精神に基づき、地域の安心・安全の確保に貢献し、地域密着性、動員力及び即時対応力にも大変優れた組織である。
しかし、全国的に少子高齢化や産業構造の変化により団員の減少傾向にある。このため、一昨年12月定例会において、消防団への入団にかかわる条例の一部を改正して、新たに市内に勤務する者を加え団員の確保に努めている。

この団員確保には、国の施策として地域の実情に応じ特定の活動や大規模災害などに限定して参加することのできる機能別団員の制度が認められていることから、団塊世代の方々に機能別団員として消防団活動にご協力をいただくことも一つの方策と考えている。
しかし、この制度を採用するにあたり幾つかの課題もあるので、

3月
定例会の

一般質問

質問順に掲載（本文の記事は順不同）

深山 孝

・高齢者福祉

・上尾市における2007年問題と課題

・住所表記混在地域等への市の対応策

田中 守

・2007年問題

・ISO9001の導入効果と更新審査の結果

田中 元三郎

・上尾市の防災計画

・ゴミ処理問題

島村 穰

・安心安全なまちづくり

・教育映像の配信

橋北 富雄

・安心・安全なまちづくり

・環境問題

斉藤 隆志

・平成19年度予算編成

・自然環境の保全、整備

児玉 晋

・子ども達が安心して通える児童保育所

・公契約

遠藤 朝子

・芝川の水害対策

・防災対策

今後、国の動向や他市の状況を見ながら検討していきたい。

市民の安心安全な ネットワークづくりは

問

今社会問題となっている高齢者や独り暮らしの孤独死がクローズアップされている。

東京都新宿区では昨年4月から9月までの半年間で、独り暮らしの生活保護受給者が自宅で亡くなり第三者に発見されたケースが21件発生し、ほとんどが数日以内に発見されたが、中には30日かかった事例もあったとの記事を読んだ。そこで、上尾市の孤独死対策について伺いたい。

答

緊急通報システムは日常生活において注意を要する高齢者や重度の身体障害者の在宅生活における緊急事態に対応するシステムで、緊急通報機のボタンを押すことによりコールセンターにつながり、緊急出動などの措置がとられるほか、月1回定期的にコールセンターから利用者に電話をし、状況確認や相談の対応も行われている。

また、配食サービスは、現在月平均280名の方が利用されており、290名の協力員の方々が安否確認も兼ねて週4回昼食をお届けしている。高齢者の安心、安全な生活を図る上からも重要なサー

ビスと受け止めている。

電線地中化の 今後の整備計画は

問

電線の地中化は歩行者と自転車利用者の安全確保を図ろうというのが大きなねらいだと思う。その観点からいくと、今年度、上尾平方線の予算が入っているが、早急にほかの場所の電線地中化もお願いしたい。資金の問題もあるかと思うが、今後の計画を伺いたい。

答

今回予定している電線地中化事業については上尾平方線の上尾駅西口交差点から鴨川までの全長約800メートルであるが、平成19年度から平成24年度までの6年間で国庫補助事業として全線を2工区に分け完成させる予定である。



電線地中化を予定している上尾平方線

今後の計画については、平成11年3月に上尾駅周辺まちづくり基本計画が作成されており、その中に駅周辺の道路整備などを行いつつ地中化を整備するよう位置づけられている。歩行者などの安全を確保するため、また災害発生に伴う電柱の倒壊などによる被害の拡大を防ぐためにも駅周辺の電線地中化を図っていきたくと考えている。

上尾市の防災計画は

問

人口20余万人のさらなる消防体制の強化を求められている中、(仮称)西消防署の建設に向けて既に着工の途にたところで、地域防災計画や消防の指令系統などの見直しが行われていると思うが、市民レベルでどのようなメリットや安心感が増すのか伺いたい。

答

(仮称)西消防署についてはは市域西側地域の防災の拠点としての建設であり、現在の消防署と合わせると東西の2署体制で災害対応が図れ、現在と比べると活動面においてさらに細分化が図られ、密度の濃い消防体制が築かれ、より市民サービスの向上が図られるものと考えている。

また、救助工作車が配備されることにより救急救助体制が今まで

以上に迅速となり、人命救助優先の災害現場への初動体制の充実強化が図られ、さらなる救命率の向上が図られものと確信しているところである。

行財政一般

上尾駅改修事業の費用対効果は

問

かけるお金に対してその事業が果たして妥当かどうかという目線が重要である。そこで、上尾駅改修事業についてのコスト意識と費用対効果といった点について考えを伺いたい。

答

厳しい財政状況の中、常にコスト意識を持って創意と工夫により限られた財源を有効に活用していくことが、行政に携わる者の使命である。本市においても、行財政3カ年実施計画の策定から予算編成に至る過程、さらには個々の事業執行の段階においても、職員一人一人が常にコスト意識を持って費用対効果を念頭に取り組んでいるところである。

しかし、社会基盤の整備に係る投資的事業については、市民の安全、安心、利便性の向上といった数値に換算しにくい部分での効果というものもあり、その効果は事業実施時点で発生する利益だけで

新木 辰男

- ・上尾市消防
- ・交通問題
- ・地域に開かれた学校づくり

道下 文男

- ・道路整備
- ・障害福祉施策
- ・地域安全対策

西村 テル子

- ・事務区の役割
- ・安全安心なまちづくり
- ・障害者の負担軽減

鍵山 節子

- ・瓦葺東部区画整理事業
- ・鴨川の水害対策
- ・教育再生会議

伊藤 美佐子

- ・介護保険制度の現状
- ・上尾市役所の活性化
- ・妊産婦検診助成制度

鴨田 幸子

- ・視覚障害者の情報環境の充実
- ・市民の安心安全なネットワークづくり

佐野 昭夫

- ・教育問題
- ・児童保育所の拡充
- ・自転車対策

武藤 政春

- ・原市6区内、通称水交會地区の防災並びに生活基盤整備
- ・平成19年度予算編成と上尾

なく、将来に向けて多世代にわたる利益として評価することが適切であると考えている。

上尾駅改修事業については、このような考え方の下、バリアフリー化への対応はもとより10年後、20年後、さらには50年後のまちの将来を見通し不可欠な事業であり、市民の皆さんの理解の下、取り組んでいきたい。

平成19年度の 予算編成は

問 自治体財政を取り巻く環境は厳しく、今後の長期的

税収の確保、国からの交付金や助成金、長期的な経済成長の見通しなど厳しさは必然であるが新年度予算編成に当たり重要点及び課題について伺いたい。

答 限られた財源を効率的に配分するため既存経費の見直しや事業選択の厳選を行い、国の補正予算を活用し、小・中学校

の校舎大規模改造耐震化事業を前倒しし、実施するなど真に市民生活にとって必要性、緊急性の高い事業への財源確保に努めた。

具体的には上尾駅整備事業や（仮称）西消防署複合施設建設事業、電線地中化整備事業、学校安全パトロールカー事業、病児・病後児保育事業、小学校、幼稚園及び保育所への自動体外式徐細動器

（AED）整備事業などの新規事業のほか、中山道東側地区市街地再開発事業、北上尾駅バリアフリー整備事業などの継続事業にも予算措置をしたところである。また、子ども医療費や要介護高齢者等手当などについても支給対象者の拡大や支給額の増額を図ったところである。

教育

子ども達が安心して 通える学童保育所は

問 今年4月の入所児童と待機児童の人数及び当初予算

の第二学童設置のための予算、民営放課後児童クラブ補助事業費が計上されたが、詳細を伺いたい。

答 今年4月の入所児童数は20学童保育所及び西小ながら

よし児童クラブで1,218人を見込んでいる。4月の待機児童の状況は8ヶ所計66人の見込みとなっている。

今後は、新たに民間施設を利用した学童保育を行う団体への補助を考えている。2ヶ所を予定しており、補助の内容は、1ヶ所当たり民間施設整備費として、補助基準上限額100万円、施設や土地の借上料月額10万円、備品購入費70万円、また指導員の夏期・年末



中央小学童保育所

手当分や社会保険料分などについては、現行の市単独補助制度分として34万円を計上した。そのほかに放課後児童健全育成事業委託料として、1年間運営の場合で1カ所当たり約450万円、年度途中開設の場合は期間に応じた額が支払われる。

元気な学校をつくる 地域連携推進事業は

問 平成18年度から平成19年度にかけて上尾小学校で元

気な学校をつくる地域連携推進事業が実施されているが、今後市内の各学校に拡大していく考えがあるのか。

答 県教育委員会の委託を受けて、上尾小学校を推進校として取り組んでいるところである。この事業の趣旨は、学校が積極的に家庭や地域社会の教育にか

かわることによって学校の活性化を図り、家庭や地域社会の教育の向上を目指し、学校、家庭、地域が一体となつて子どもの育成に取り組むものである。具体的にはパイプ役となる6名のふれあい推進長を中心に約600名の学校応援団を組織し、授業での協力や本の読み聞かせ、あいさつ運動を兼ねた登下校の安全パトロールなどに取り組んでいる。平成19年度には土曜日や長期休業日を利用し、パソコン教室、外国語講座、親子の料理教室、水泳教室などの講座を開設する予定である。

県では、今後県内の全公立小学校で実施していく方針で、市としても県の動向を見据えながら全小学校で実施できるよう、学校に対して指導していきたい。

中学校普通教室に 扇風機の設置を

問 真夏の40度近い教室の中

で扇風機の設置は、子どもたちの切実な願いである。平成18年度は小学校に設置され、平成19年度は中学校だと関係者からは期待の声が寄せられていた。地球温暖化による異常気象の影響で真夏の教室の気温は想像を絶するもので、待たなしに対策が必要である。そこで中学校への設置が先送りされてしまったのはなぜか伺い

— 議会を傍聴してみませんか —



議会は公開となっていますので、手続きをすれば自由に傍聴できます。本会議場の傍聴席は一般用56席、車いす用2席のほか難聴者用イヤホンも備えてあります。議会の日程など詳しくは議事調査課へお問い合わせください。
議会事務局（TEL775-9467）

- ・市の財政基盤の確立
- ・安心安全なまちづくり
- ・安心安全な学校教育の向上
- 秋山 かほる
- ・高齢者福祉政策
- ・子育て支援
- ・市政の方向
- 谷澤 公彦
- ・財政と施設建設
- ・地域コミュニケーション
- 糟谷 珠紀
- ・保育・子育て政策の充実を求めて
- ・上尾駅改修計画
- 森島 岐代子
- ・2007年度の予算編成と市長の政治姿勢

たい。

答

行財政3カ年実施計画を策定するに当たり、多様な行政需要に適切に応えながら、計画的な行財政運営を遂行していくことを検討していく中で、中学校の普通教室に扇風機を設置する事業の平成19年度実施は先送りをさせていただき平成20年度とした。

しかしながら、異常気象による夏の教室の暑さは十分予想されていることであり、父母の方々からの要望も十分認識しており、早急に何らかの対策が必要と考え、実現できるよう努力していきたい。

福祉・保健

75歳以上を対象に
ぐるっとくんの無料
乗車券の発行を

問

桶川市では、平成12年より敬老の日を中心とした独自の施策として、「コミュニティバス」を75歳以上を対象に、9月の1カ月間無料パスポートを発行し好評を得ているが、同様にぐるっとくんの無料乗車券を発行できないか。

答

ぐるっとくんは、高齢者の交通手段として多くの方にご利用されていることから、ご指摘の点については歓迎される事業と思われるほか、高齢者の外出の



市民の足として利用されている「ぐるっとくん」

機会を増やすことにもつながり、ひいては健康の増進も期待できると考えられるが、他の事業の取り扱いや事業担当課との調整も必要になることから、今後、ご質問の点について検討させていただきます。

所得税改正による
保育料の影響は

問

定率減税が半減になり、所得税の増額による影響世帯数、影響額、保育料への影響とその負担軽減の考え方について伺いたい。

答

定率減税の額が20%から10%に引き下げられた影響は、平成18年度の保育料を基にした試算では、保育料の階層が1階層上がると思われる世帯は、約640世帯である。また、児童の年

齢により保育料の額が異なるので、平均値から影響額を計算すると、月約100万円と見込まれる。

保育料の負担軽減については、市では定率減税導入の際には、保育料の見直しを行わず据え置いた経緯があるほか、平成10年度以降保育料の改定を行っていない状況であるが、今後の国の動向等を踏まえ慎重に検討する必要があると考えている。

現時点においては改定のための審議会の開催は予定していない。

介護予防事業の
実施状況は

問

介護予防は、地域包括支援センターの設置を見ても分かるように、地域での支援体制が最も重要である。そこで、各地域における予防介護の実施状況について伺いたい。

答

介護予防の実施については、一般高齢者及び特定高齢者を対象に、転倒予防などの介護予防のためアップピー元気体操をはじめ認知症予防のための脳の健康教室などを行っている。

アップピー元気体操については、公民館など市内9カ所の会場で市民ボランティアの体操リーダー46名の協力により週1回、いすを使って音楽に合わせた体操や伸

び縮みするゴムバンドを使った筋力アップにつながる体操を行っている。

脳の健康教室については、9カ所の地域包括支援センターに委託しており、市民ボランティアの学習パートナー43名の協力により10月から3月までの間、週1回、読み書き、計算などを行うほか、自宅学習を毎日行っている。

今後、参加しやすい環境づくりの視点から、各地域の介護保険施設での取り組みについて検討していきたい。

介護認定者の
変更状況は

問

介護を必要とする要介護認定者は発足時の2倍に達している。これに伴い、介護サービス給付も増大し2025年度には20兆円に達すると推計されている。制度改正に伴う認定者の変更状況などについて伺いたい。

答

上尾市の現在の高齢化率と今後の推移は平成19年1月1日現在、17・1%となっており、今後の推移は5年後の平成24年が20・99%、10年後の平成29年が24・86%と見込まれている。高齢者人口に対する認定者の割合については、平成19年1月1日現在、高齢者数3万8,454人に対し認定者は4,589人、認定率は

11・9%となっている。

認定者のうち介護サービスを受けている人の割合は、平成18年11月末現在83%となっている。認定者の変更状況は、平成19年1月1日現在、1年前との比較で要支援は2・9%上昇し、要介護1は5・1%減少、要介護2は2%上昇、要介護3は1・4%上昇、要介護4は0・5%減少、要介護5は0・7%減少している。要介護1が5%と大きく減少したのは、昨年4月の法改正により、従来の要介護1が要介護1と要支援2に振り分けられたことによる。

高齢運転者の
事故防止対策は

問

高齢運転者の急増に伴い75歳以上の運転者による死亡事故件数は、増加している。そこで、高齢者による事故急増防止対策として、免許証を返納する代わりにタクシー利用補助券を発給するような事業についての考えを伺いたい。

答

運転者免許返納高齢者割引タクシー制度は、羽生警察署が高齢者の交通事故防止対策の一環として、高齢者運転免許保有者の返納促進を図るため、管内タクシー2社と運転者免許返納高齢者割引タクシー制度の協定を締結し、平成18年10月10日から

運用を開始したものと聞いてい
る。

この事業は、運転免許証を返納
した高齢者に対しタクシー料金を
1割引きするというものである
が、運用を開始して5カ月とい
うことで、この効果の検証につ
いては、いまだ少し経過が必要かと思わ
れる。

本事業の必要性については、個
人の権利なども発生するため、今
後に向けて上尾警察署をはじめと
した関係機関とその方策につ
いては、相談していきたく考えている。

都市整備

瓦葺東部土地区画整理 事業地内の公園は

問 さいたま市境の農地で
あつたところに新しいま
ちづくりが進んでいる。区画整理
事業は住民の一致した意思が何よ
りの条件となり、早期完了が望ま
れるところだが、進ちよく状況に
ついて、また、この区画整理事業
によって公園が建設されるのこ
とだが、整備年度や計画につ
いて伺いたい。

答 瓦葺東部土地区画整理事
業の進ちよく状況につ
いては、街路築造事業で平成18年度末
85%となる見込みである。また、



(仮称) 前原公園整備予定地

区画整理事業地内の(仮称)前原
公園は平成17年度に瓦葺東部土地
区画整理組合より公園の整備につ
いての要望があり、市としてこの
要望を受け行財政3カ年計画の中
で(仮称)前原公園として事業計
画を立てているところである。

今後、事業の進ちよく状況を見
ながら公園の整備年度や整備計画
については、組合の役員や地元
の方々と話し合いを行い整備して
いきたいと考えている。

障害者に優しい 道路整備を

問 第4次上尾市総合計画の
後期基本計画の中で、道路
の質の向上として、だれもが快適

に利用できるよう段差や勾配を最
小限にした質の高い道路整備を行
つていくと明記されている。そこ
で、高齢者・障害者に優しい道路
整備の現状と今後の取り組みにつ
いて伺いたい。

答 近年、高齢化社会の進展
に伴い、障害者・高齢者を
はじめとするだれもが安全で安心
して通行できる道路整備を推進し
ているところである。特に交通バ
リアフリー法が平成12年11月に施
行され、駅周辺の歩行空間におけ
る連続したバリアフリー化が求め
られている。

また、上尾市総合計画において
も、生活道路基本方針の中でバリ
アフリー化を図る道づくりの推進
を掲げているところであり、毎年
度歩道の段差解消を進めてきたと
ころである。

今年度事業としては、泉台地区
において8カ所の歩道段差解消工
事を行い、来年度も引き続き6カ
所の歩道段差解消工事を予定して
いるところである。

鴨川の 水害対策の 今後の見通しは

問 最近の季節外れの集中豪
雨など異常気象の中で、鴨
川があふれる前に床下に水が来て
しまうことへの不安が感じられ
る。

平成18年度には内水を排水するた
めの予算がついていて、測量や設
計の努力が進んでいるが、その状
況について、また、今後の見通し
について伺いたい。

答 鴨川改修は、昭和水管を
荒川上流河川事務所、最下
流に建設されている鴨川排水機場
から、中流部の上尾市とさいたま
市境にかかる鴨川橋までの区間約
15キロメートルをさいたま市土
整備事務所が管理し、さらに上流部
を北本県土整備事務所が管理を行
っている国と県により取り組んで
いる事業である。

平成18年度より2カ年計画で関
係資料の収集、現地調査、測量の
実施、流域界の再設定、現況排水
施設の能力、浸水の原因究明など
の解析を行い、鴨川の流下能力、
放流量などを県と協議していると



各所で改修の進む鴨川

ころである。
今後の予定としては、平成19年
度に、現地調査などの解析を基に
排水施設計画を策定するための予
算を計上した。

原市六区地内の 通称水交会の 道路整備は

問 原市六区地内の通称水
交会の地区における、認
定外道路の拡幅や整備をどのよう
に行っていくのか伺いたい。

答 平成17年8月に原市六区
区長並びに水交會会長の
連名で要望のあつた幅員0・9
メートルの認定外道路につ
いては、歩行者、自転車が行く
る砂利道急勾配の坂道であるた
め、通行に苦慮しているところ
であり、防災上並びに生活基盤と
しての観点から、道路整備の必要
性を認識している。

道路の拡幅整備を実現するため
には、関係する地権者のご理解、
ご協力が不可欠である。道路後
用地の寄付の考え方や必要性の
高い道路であることなどについて、
市、地元区長さんと綿密に連携し
ながら取り組み、土地の地権者
にご協力をいただくよう努力して
いきたい。

また、認定外道路の整備につ
いては、砂利道を舗装するなど現
状の道路内での対応はしていきたい。

傍聴席からひとこと

身近な問題を知るよい機会に

今回が2回目の傍聴です。

身近な方が議員として一般質問をされると聞き、関心のある内容でもあることから傍聴しました。



おおの みつきき
大野光起さん (上)

「知らざるを知らずとなす これ知るなり」とありますが、『広報あげお』や『議会だより』でしか知る機会がありませんでしたが、今回はこの議会傍聴を通じて、身近な問題を知る機会を得ました。

たいへんありがとうございました。

地域を見直す機会になった



よこい とみこ
横井富子さん (愛宕)

傍聴は6回目です。このような機会がないと、なかなか議会の様子を見ることのできないのでありがたいと思っています。

一般質問初日だったためか議員さんのはつらつとした質問につき身を乗り出す場面もあり、あらためて地域を見直すよい機会でした。

質問に対するやり取りが、高齢者に分かりやすい言葉を心がけてもらえればさらに身近な議会になるとと思います。



建設水道常任委員会の丸山公園現地調査の様子

委員会活動

H19. 1.16 H19. 4.15



文教経済常任委員会の芝川小学校現地調査の様子▶

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	3. 2・5	● 3月定例会提出議案10件、請願2件を審査
文教経済常任委員会	3. 6・7	● 芝川小学校体育館・特別教室改修個所、紙廃棄物リサイクル業者を現地調査後、3月定例会提出議案4件を審査
建設水道常任委員会	3. 2・5	● 丸山公園 <small>しょうぶだ</small> の菖蒲田、丸山都市下水路、芝川都市下水路、上平公園野球場を現地調査後、3月定例会提出議案14件を審査
福祉消防常任委員会	3. 6・7	● 3月定例会提出議案14件、請願1件を審査
議会運営委員会		● 議会運営について協議(協議回数8回)
議会報編集委員会	1. 16 3. 20	● 「あげお議会だよりNo.136」の内容について協議 ● 「あげお議会だよりNo.137」の内容について協議

- 議会運営委員会の委員に武藤政春議員(市民民主クラブ) 副委員長に橋北富雄議員(公明党)
- 議会報編集委員会委員と委員長に谷澤公彦議員(市民民主クラブ)

意見書8件を原案可決

3月定例会最終日の20日、議員提出議案として意見書10件提出し、8件を可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

「がん対策推進条例」(仮称)の早期制定を求める意見書

提出先 埼玉県知事

「がん対策推進基本計画」の早期決定を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣

「マザーズサロン」(仮称)設置の早期実現を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

「法テラス」の更なる体制整備・充実を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、法務大臣、衆議院議長、参議院議長

公開制度見直しなど戸籍法の早期改正を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、法務大臣、衆議院議長、参議院議長

深刻な医師不足の打開策を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣、衆議院議長、参議院議長

「最低賃金」制度の見直しを求める意見書

提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

国民健康保険に係る国庫負担金の減額算定措置の廃止を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

* 次回の6月定例会は、6月1日に開会の予定です。

請願、陳情、要望の提出期限は、5月28日(月)までとなります。

詳しくは、議会事務局(☎775 - 9467)へお問い合わせください。

なお、上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継を行っております。

上尾市議会ホームページアドレス
<http://www.city.ageo.lg.jp/shigikai/>

～ 議会報編集委員 ～

谷澤 公彦、児玉 晋、清水 義憲、
島村 穰、鴨田 幸子、深山 孝、
秋山かほる、遠藤 朝子